

# 宇和島市 発達支援センター



## めざすところ

すべての親と子が 地域の中で  
安心して育ち ともに学び  
社会の一員として  
自分らしく自立した生活を  
送ることができる地域

# 宇和島市発達支援センターでは

## このようなサポートをしています

発達や育ちが気になる方、発達障がいのある方、家族、関わる方(支援者)へのサポートをします。



### 基本理念



切れ目ない支援



きめ細やかな支援



身近で受けられる支援

### 支援の姿勢



伴走型支援



本人・家族に  
よりそう支援

伴走型支援とは、支援を受ける人が主体的に課題解決に取り組めるよう、寄り添いながらサポートする支援のことです。支援者が一方的に決めるのではなく、必要な情報や知識を提供することで、自立を促すことを目的とします。

### ●中核相談機関として

生活面・学習面での相談や、発達の上での様々な相談に応じます。

支援の必要な人とその家族が園・学校・地域・職場で安心して生活できるようお手伝いします。

必要に応じて保健、医療、教育、福祉、就労などの関係機関と連携して、総合的かつ継続的な相談・支援をします。

### 対象

- ・発達障がいのある方
- ・発達に支援を必要とする方
- ・家族
- ・支援者

相談は無料です。  
お気軽にご相談ください。



# 主な4つの事業

## 相談支援

- ・本人、家族、支援者からの相談に応じます。
- ・発達特性や困りごとを整理し、生活の場における手立てや関わり方などを考えます。
- ・情報提供

## 発達支援

- ・園へ巡回訪問し、相談・支援を行います。(巡回相談支援: 通称おむすび相談)
- ・ペアレント・メンターを交えた保護者同士の交流会
- ・ペアレント・トレーニングなど

## 機関連携

- ・関係機関との支援ネットワークづくり
- ・各支援者との調整、支援会議等
- ・発達支援連絡会
- ・リレーファイル

## 普及啓発・研修

- ・発達障がいについての情報発信や啓発活動
- ・支援者向け研修会

## つなぐ

縦横「切れ目ない支援」をめざします

(縦)

就学前 → 小学校 → 中学校 → 高等学校 → 進学・就労先など

(横)

保健・医療・相談機関・障がい福祉サービス・日中活動の場



各ライフステージで、本人や保護者が支援者とともに成長を笑顔で喜べる、そんな支援がつながっていくことをめざします。



# こんなお困りごとありませんか？

## 乳幼児期

- ・ことばの発達がゆっくり
- ・落ち着きがなく、よく動き回る
- ・視線があいにくい
- ・気持ちの切りかえが苦手



- ・しつけが難しい
- ・どう接していいか分からない
- ・かんしゃくが激しい
- ・決まったものしか食べない
- ・家と園でのちがいにとまどう

- ・子どもの育ち、ペースはちがいがあってあたりまえ。
- ・お子さんにあった育て方のコツをいっしょにみつけていきましょう。



## 学童期・思春期

- ・音読がたどたどしい
- ・文字を書くことが苦手
- ・宿題に時間がかかる
- ・集中しにくい



- ・登校しぶりがある
- ・教室でごしにくい
- ・対人関係でのトラブルが多い
- ・本人への関わりについて知りたい

- ・困りごとの理由をいっしょに考えましょう。
- ・あなたの育て方のせいではありません。



## 成人期

- ・人づきあいがうまくいかない
- ・段取りよく仕事がこなせない
- ・仕事が長続きしない
- ・片付けがうまくできない



- ・思いついてすぐ行動し、失敗することがある
- ・家事がうまくできない
- ・衝動買いをする
- ・金銭管理が苦手
- ・自分は発達障がいではないかと思う

- ・生活上で困りごとを感じたとき、本人や家族のみで抱え込みず、ご相談ください。
- ・自分でできることや得意なことを知り、自分にあった工夫を増やして負担を減らしましょう。
- ・苦手な部分は周囲の力を借りましょう。



## 支援者



- ・本人の行動をどう理解すればよいのかわからない
- ・アセスメント（本人の困りごとの背景の見立て）がこれでいいのか不安
- ・園や学校、職場などの集団生活での困難さに対し、より適切な支援方法を考えたい
- ・支援の方法や方向性を再検証したい
- ・他機関との連携の仕方が知りたい



## 〈本人・家族の相談の流れ〉



まずは電話でご連絡ください。来所相談は予約制です。

必要に応じて

来所相談予約

情報提供

対応についての助言

来所相談

- ・初めての方は受付表の記入をお願いします
- ・相談内容をていねいに聴きとります
- ・困りごとの背景をいっしょに考えます（氷山モデルで考える）
- ・具体的な手立ての検討、助言、情報提供



関係機関との連携（つなぐ）

- ・所属先との情報交換や支援会議



## 〈支援者からの相談の流れ〉

支援者とは、就学前施設・学校・事業者など、  
本人・家族をサポートしている人です。

支援者

STEP  
01

STEP  
02

STEP  
03

本人の困っている姿に気づく



- ・実態把握（本人・保護者からの相談、聴き取り、行動観察など）
- ・職場の中で他の支援者と情報交換

職場のキーパーソン  
による調整・連絡

- 就学前施設  
(主任や園長)
- 学校  
(特別支援教育コーディネーター等)
- 就労機関  
(管理責任者等)

①職場の中で

- ・本人の状態像を理解
  - ・支援について検討
- ②支援方法を考え支援する

支援の見直し・再検討

本人の状態(背景)を客観的に知りたい  
適切な支援方法のヒントがほしい

発達支援センターへ相談

- ・困りごとの背景をいっしょに考えます  
(氷山モデルで考える)
- ・助言、情報提供・つなぎ



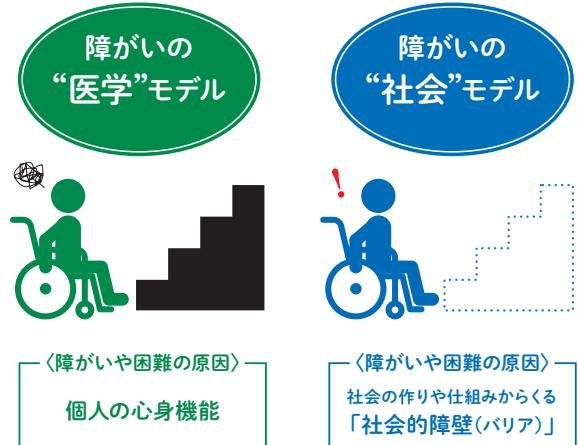
## 行動には理由があります。氷山モデルで要因を考えます。

水面上に見える部分(行動)と水面下にある要因(特性や環境)に分け、水面下の要因に着目して本人視点で支援を考えます。



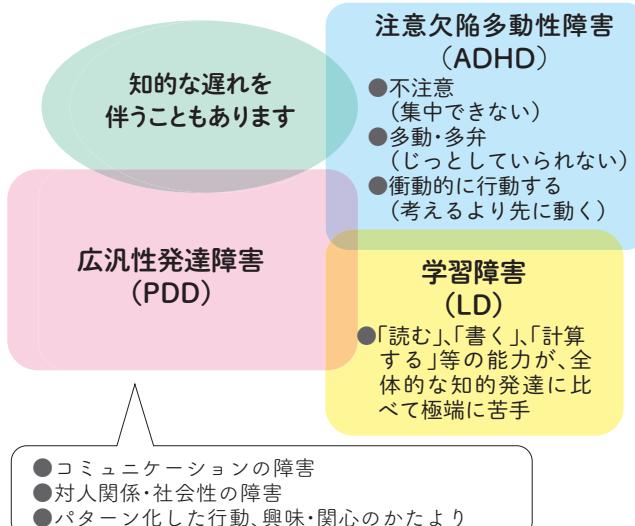
### “本人を変える”から “社会(環境)を変える”へ

個人の違いではなく、社会や環境の仕組みを変えることで、すべての人が暮らしやすい社会につながります。



## 発達障害とは

発達障害者支援法において、「発達障害」は「自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害であってその症状が通常低年齢において発現するもの」と定義されています。



※広汎性発達障害(PDD)は自閉スペクトラム症(ASD)、学習障害(LD)は限局性学習症(SLD)、

注意欠陥多動性障害(ADHD)は注意欠如・多動症(ADHD)と表記される場合があります。

※神経発達症と呼ばれることもあります。

発達障害(発達凸凹)は、一見しただけではその特性や苦労が分かりにくく、親の育て方や本人の努力不足などと誤解されやすい障害です。また抱える困難、持っている能力や個性等もさまざまなので、その人の特性や状況に応じた理解と支援が必要となります。



自分の特性と環境が合うと  
特性は目立ちにくく  
自分らしい生活がおくれる

自分の特性と環境が合わないと  
特性は目立ちやすく  
生きづらさが大きくなる

 **発達障害ナビポータル**  
国が提供する発達障害に特化したポータルサイト

検索



# ポジティブな行動支援(PBS)とは?

## ～望ましい行動を増やすアプローチ方法について～

○ポジティブな行動支援(Positive Behavior Support)とは?  
…本人の望ましい行動を育てる支援方法です



### PBSの考え方のポイント

- ・何か問題が起きた後に支援するのではなく、予防的な支援であること。
- ・できていないことに着目するのではなく、できていることに着目すること。
- ・望ましくない行動を「罰則や叱責」で減らすのではなく、望ましい行動を「称賛や承認」で増やし、結果的に望ましくない行動を減らすこと。

### PBSの考え方の前提に、本人の行動の捉え方があります

「気になる行動」を3つの場面に分割した上で、  
行動の前後にアプローチし、「望ましい行動」を増やすための工夫をしましょう。

行動の前(きっかけ)  
行動のきっかけ、状況

行 動

行動の後(行動の結果)  
行動の後に何が起きたか

#### 行動の前の工夫

- ①望ましい行動を起こしやすくなるような、  
**環境を整える工夫**
- ②何をしたら良いかがわかるような**指示の工夫**  
(例)具体的・端的な指示、わかりやすい言い方

#### 行動の後の工夫

- ①望ましい行動に近づいたときは…  
具体的・即時的に**褒める、承認する**
- ②望ましくない行動のときは…  
怒る・叱るなどの**過剰な反応をしない**  
代わりに、望ましい行動に近づいた際に  
**褒める**

### 自立のイメージ

大切なのはひとりでできることを増やしながら、本人が自分でサポートを  
求められるようにSOSを出せるようになることです。



- ・SOSを出すのは「自分がダメだ」ということではない
- ・自分の得意、不得手(苦手)を知り、支援を得ることで力を発揮しやすくなる
- ・ポジティブな意識を育む(自己肯定感)
- ・100%ひとりでできるようになることを目指さない



## 交通アクセスマップ

はぐくみサポートステーションは  
「宇和島市発達支援センター」  
「こども支援教室わかたけ」  
「あけぼの園」が複合する施設です。  
障がいのあるなしに関わらず、多様  
なあり方を尊重していきます。  
幼い頃から地域の中で「共に育ち合  
う」ことを大切にしていねいに育み、  
このまちで安心して暮らせるように支  
援しています。



月～金曜日（祝日・年末年始を除く）  
8:30～17:15

## 宇和島市発達支援センター

〒798-0066 宇和島市文京町3番1号  
宇和島市はぐくみサポートステーション内  
TEL 0895-49-8889（ははハグ・ぱぱハグ）  
FAX 0895-23-7301  
E-mail hattatsu@city.uwajima.lg.jp



発達支援センター HP

